

宗祖大聖人毎朝御拝読（元祖化導記）。以来
なぜか要品から漏れてきた涌出品のお経本。

宗祖御入山・身延山開創750年記念 総かな付

○『妙法蓮華經從地涌出品第十五』 真訓

「涌出・寿量の二品を除ては皆始成を存せり」—開目抄—
経文解説、「日蓮」という名の解説、日蓮宗宗憲付き

●裏面 新編 《身延山御書類聚》 一日一訓

総ふりがな付き。僧俗ともに毎日ご拝読下さい。

定価 1冊 2500円（税込、何冊でも送料無料）

妙法蓮華經從地涌出品第十五

品第十五 解説付

妙法蓮華經從地涌出品第十五

爾時釋迦牟尼佛告彌勒菩薩。善哉善哉。阿
逸多。乃能問佛。如是大事。汝等當共一心。被

精進鎧發堅固意。如來今欲顯發宣示諸佛
智慧。諸佛自在神通之力。諸佛師子奮迅之力。諸佛威猛大勢之力。爾時世尊欲宣示諸佛

義而說偈言

當精進一心 我欲說此事 勿得有疑惑 佛智叵思議
汝今出信力 住於忍善中 昔所未聞法 今皆當得聞
我今安慰汝 勿得懷懼懼 佛無不實語 智慧不可量
所得第一法 善深圓分別 如是今當說 汝等一心聽

爾時世尊說是偈已。告彌勒菩薩。我今於此大衆宣告汝等。阿逸多。是諸大菩薩摩訶薩無量無數阿僧祇從地涌出汝等昔所未見者。我於是娑婆世界得阿耨多羅三藐三菩提。

一

四条金吾殿御返事 〔佐渡ご赦免〕(定遺一八〇〇頁)

佐渡の島に放たれ、北海の雪の下に埋もれ、北山の巣の山下風に、命
盼かるべしともおぼえず。年來の同朋にも捨てられ、故郷へ帰らん事
は、大海の底のちびきの石の思いして、さすがに凡夫なれば古郷の
人々も恋しきに、在宿の宮仕附なき身に、此絶を信する事こそ希有
なるに、山河を離ぎ、蒼海を経て遙に尋ね來り給いし事。香城に

骨を碎き、雪藏に身を投げし人々にも争てか劣り給うべき。又、わが身はこれ程に渾ひ難かりしが、いかなりける事にてや、同じき一年の春の比、就免せられて餉倉に帰り上りけん。倩事の情を察するに、今は我身に過る。あらじ。

田二のところ。いまださだまらずといえども、たいし（大旨）はこの
よしむかにいて、美えま、しばらくは候、わんずらん。結句は「人にな

寛文八年 身延山第二十九世

十九世

身延山御書類聚